

日本ビジネス航空協会 会報

2025 年 7 月号



CONTENTS

◇ 会員紹介

株式会社リアライズアビエーション

1 ページ

◇ 2025 年度 定時社員総会 報告

4 ページ

株式会社リアライズアビエーション

【会社概要】

会 社 名	株式会社リアライズアビエーション
代 表	代表取締役 今福洋介
設 立	2024 年 3 月
従 業 員 数	5 名 (2025 年 6 月)
本社所在地	東京都港区六本木 6 丁目 10-1 六本木ヒルズ森タワー34 階
営 業 拠 点	東京都大田区羽田空港 1-1-4 羽田イノベーションシティ K304
事 業 内 容	ビジネスジェットの運航、及び周辺ビジネスの開発・推進



【起業に当たっての思い】

株式会社リアライズアビエーションは、「未来を、今に。そして日本中によろこびを。」を社是に既存の仕組みやモノに付加価値を与え、お客様にサービスや商品を提供するリアライズコーポレーションが立ち上げた航空事業会社です。ビジネスジェットの運航と周辺ビジネスを通じて新たな価値の提供を目指します。

ビジネスジェットは、スケジュールや目的地設定の柔軟性、乗り継ぎや待ち時間のない効率性、乗客のプライバシー確保、快適性など優れた特徴があり、移動手段として高い価値を有します。日本でも、欧米に大きく遅れながらもビジネスジェットの利用が広がりつつあるのは、その価値が認められつつある証です。また申し上げる迄も無く、ビジネスジェットの普及に伴い、保有資産としての価値も益々高まっています。

リアライズアビエーションは、リアライズグループが保有する Textron Citation CJ4 Gen2 の運用を担い、2025 年 7 月から自社の操縦士による自社運航を始める計画です。今後、ビジネスジェット運航体制を強化しながら経験を積み、事業の拡大と周辺ビジネスの開発にも挑戦します。リアライズのグループ企業との相乗効果も取り入れつつ、リアライズアビエーションとしてビジネスジェットに独自の付加価値を与え、移動手段としての価値と保有資産としての価値の最大化を目指します。



【当社の強み】

当社にとってリアライズグループ内の企業向け移動手段の提供が、CJ4 Gen2 運航ニーズのベースカーゴになっています。グループ内企業のニーズにきめ細かく応える為、2024 年 11 月に羽田空港構内営業権を取得し、CJ4 Gen2 乗客の送迎用に高グレードのミニバン（ベンツ V クラス）を所有・運用中で、構内の乗客輸送サービスはグループ外のお客様にも提供可能です。また航空業界に於いて重大な課題になっている運航スタッフ不足の解消に貢献することを念頭に、2025 年 5 月に派遣業許可を取得しました。更に「通信販売酒類小売業免許」を申請中で、許可取得後リアライズグループが経営する、一流のワインを多数取り揃えたハイグレードワインバー「Vinothèque Azur」のソムリエが選定する特別なワインをビジネスジェットのお客様に提供する予定です。何より当社には、長年ジェネラルアビエーション業界で経験を積んだ運航スタッフがいることが当社の強みです。



【使用機材の選定背景】

Cessna CJ4 Gen2 は広いキャビンと長距離を飛行できる航続性能を有し、北海道から沖縄の離島を含めて国内全域から、韓国、台湾など国外にも直行が可能で、国内で運航もあり、整備体制も確立されています。リアライズグループ企業の移動ニーズに応えつつ、ビジネスジェット運航経験を積み、将来の事業拡大を目指すうえで最適な機材として選定しました。

2025 年度 定時社員総会 報告

2025 年 5 月

JBAA

【はじめに】

去る 5 月 21 日、日比谷国際ビル 8 階の日比谷コンファレンススクエアにて、2025 年度の JBAA 定時社員総会が執り行われました。また、総会に引き続き、理事会および懇親会も行われましたので報告いたします。

【2025 年度 定時社員総会】

総会では、決議事項として「2024 年度計算書類の件（監査報告含む）」と「理事選任の件」をお諮りし、会員の皆様からご承認を頂きました。また、報告事項として「2024 年度事業報告」および「2025 年度事業計画、予算」について報告/説明し、ご承諾を頂きました。

2024 年度の特記と致しましては、10 年間運用してきました JBAA 協会ホームページ（HP）を全面リニューアル致しました。引き続き会員の皆様の声を反映して、HP の充実を図って参ります。

また、鹿児島県と協同し「ビジネスジェットの認知度向上を目指した動画」を作成致しました。作成した動画は JBAA HP にて公開しておりますので、是非ご覧ください。この取り組みは 2025 年度も「愛知県（県営名古屋空港）」「長野県（松本空港）」を舞台に継続実施しております。

なお、総会の運営においては、正会員 65 社の全会員から「代表者のご出席」または、代理出席/ご欠席の会員からは「委任状の提出」を事前に頂く事が出来ました。全会員から事前に返信を頂いたことは、会員の皆様の協会活動への参画意識の高さの証しと受け止め、今年度も会員のニーズに応えた充実した活動につながられるように、気持ちを新たに致しました。



蛇足ですが、今年度から総会会場を従来の「航空会館」から「日比谷国際ビル」内の「コンファレンススクエア」に変更いたしました。

【2025 年度 第 2 回理事会】

総会に引き続き、今年度第 2 回目の理事会を開催致しました。本理事会では、総会でご承認頂いた新理事の役職についてお諮りし、新任の櫻井理事（双日社）の副会長、および上田理事（エアバス・ジャパン）の常務理事選任について、出席理事から承認を頂きました。

【懇親会】

懇親会には総勢 90 名のご出席を頂きました。会員以外にも、国土交通省、経済産業省、フランス大使館等の皆様にもご出席を賜りました。「JBAA 伊東会長」の挨拶を皮切りに、「国土交通省 航空局 蔵持次長」、「桜美林大学 戸崎教授」、「経済産業省 青田課長補佐」の皆様からご挨拶を頂きました。そして「JBAA 田代常務理事（※）」の乾杯のご発声により、懇親会を開会いたしました。



懇親会の中では、多くの会員の方々が業種を超えてコミュニケーション、情報交換に有意義な時間をお過ごしくださいました。

（※：朝日航洋株式会社（当時） 現 エアロトヨタ株式会社）

以上